

友達が増える！ 人付き合いのマナー 2

⑩あいさつを先にしよう。（あいさつは「今日もよろしく」という意味。相手から言われる方がうれしい。

先にしよう！そして、できたら相手よりも大きな声であいさつをしよう。それだけ、相手は嬉しいはず。）

⑪あいさつ無視を絶対にしない。（あいさつしないのは無視をしているのと同じ。中学以上の世界では

相手にケンカを売っているのと同じ。中学ではあいさつしなければ上級生に怒られることがある。先生は経験済み。）

⑫一人でいる子に声をかけてみよう。

（本当は話をしたいけど、何か話しづらくて一人でいる人はけっこういる。「友だちにあそぼうか。」「何しているの」等と声をかけてみよう。その人からかなり信頼され、感謝されることがあります。その信頼は広がります。あの人は、一人でいる子に声をかけてあげられる優しい人なんだ。気軽に話しやすい人だなあと。）

⑬人によってあからさまに態度を変えないようにしよう。

（例をあげる。ある仲の良い人には「嬉しそうに物をかしてあげて」普通の人には、「物をかしてあげない。」ような事をしている人がいたとする。それを他の人が見ていてどう思うだろうか。「人によって態度を変える人なんだ。私にはよくしてくれるかな。」と不安になるだろう。そのような不安をもつ相手と友だちになりたいと思うだろうか。たいていの人は、誰にでも態度を変えずに貸してくれる人と仲良くなりたいと思う。）

⑭いつも正しいことばかりを相手にいわないようにしよう。

（「あっ、それ違うで」と、よく相手の間違いなどを言う人がいる。それが続くと、「この人の前ではいつも正しいことをいわなくてはいけないなあ。面倒くさいなあ」となる。そして、何より、話がとまる。このような人と友だちになりたいと思う人はすくない。友だちに気を楽にしてもらおうと思うならば時には、違うくても指摘をしない時もある。）

⑮いやなことがあっても少しは我慢をしよう！

我慢を出来る人は、トラブルの数を減らせる人でもある。嫌なことがあって、我慢を少しもせずに文句をいってトラブルを起こしていってしまうと、「この人はトラブルが多い人だなあ。近づかないところ」となってしまうことがある。

例えば一回ぐらい順番を抜かされても「まあ、一回くらい許してあげよう」と思うことは大事。

⑯「友だちのいいところをさがす」と思い友だちと接してみよう！

「自分の悪いところをみつけようとしている友だちと、自分のいいところをみつけようとしてくれる友だちのどちらと仲良くなりたいか」を考えたら言っている意味がわかると思う。また、友だちのいいところをみつけようと過ごしているといいところが目にとびこんできて、さらにその人が好きになっていく。一度ためしてほしい。

⑰喜んであげられる人になろう！盛り上げられる人になろう！

自分が成功した時に友達も喜んでくれたら嬉しいものである。盛り上がっている人の近くにいると楽しい雰囲気をもたらえるものである。そういう「うれしい」や「楽しい！」を味わわせてくれる人には人は自然と集まる。友だちも増える。

また、喜んであげられない。盛り上げられない人は誘っても楽しんでないようにみえるから「きっと楽しくないだろうから誘うのをやめよう」となる。損だ。

優しい人になってください。信頼される人になってください。

⑱友だちを独占(どくせん)しない。

その友だちもいろいろと遊びたいはず。自分だけと遊ぼうなという無理をいわない。逆にいやがられることあり。